

Extra! Extra! Star Scholars Times February 2019



英検お疲れ様でした!

11月から始まった英検講習。ついに英検の試験も終わりました!今回合格した人も、点数が届かなかった人もいると思いますが、とにかくお疲れ様でした。体力や時間がぎりぎりの中、宿題もたくさん出されて、それでも最後まで真剣に、本当によく頑張りました。結果がどうであれ、「自分で設定した目標に向かって、諦めずに努力をすることができる」ということは、必ずみんなの強みになっていて、将来役に立ちます。今回合格できた人は新たな目標探しを、出来なかった人は今回自分に何が自分に足りていなかったのか分析して、さっそく勉強を始めましょう!英語学習だけでなく、なんでも「今の自分に満足」してしまったらそこで自分の成長終了!3か月後の自分は、今日の自分よりレベルアップしているように頑張ろう!

(でも頑張りが続くと疲れちゃうから、たまには自分を甘やかして好きなことをする時間を作ろう!)

多読 おすすめの一冊

Japan

お弁当も日本食の文化の一つだね!

本物を見たことあるかな?



広島、原爆ドーム。いつか行ってみたいですね!

みんなはもうこの本を読んだかな?タイトルの通り、日本についての本です。なぜ Emi がこの本を紹介するかというと、私を含め、みんなが日本人だからです!みんなは外国人に日本のことを聞かれたら、きちんと答えられますか?日本の歴史や伝統文化、生活習慣や日本語について、観光地や流行りのものなど、日本語でもなかなかパッと答えることが難しいはず。恥ずかしながら、私も高校留学をした時、ホストファミリーに日本について聞かれ、ほとんど答えることができませんでした。英語だから、というよりそれまで日本について深く考えることがなかったので、日本語でも答えられませんでした。出発前、一生懸命オーストラリアについて調べて行ったのに、日本について聞かれるとは。完全なる盲点でした。「Emiは日本人なのに、日本のことあんまり知らないんだね。」と言われてしまったのを今でも覚えています。海外に行ったり、日本に住んでいる外国人と接すると、日本人よりも日本について詳しくなったりします。(Dennis もそうだよね!)これからはグローバル化が進み、日本に住んでいても外国人と接する機会、働く機会が増えていきます。海外で生活をする人も出てくるでしょう。そんな時に、日本について何も知らない、外国人から日本について教わってしまう、なんてことのないよう、今のうちから、自分の生まれ育った国「日本」について、日本語・英語両方で話せるように、そして日本のいいところを外国にたくさん発信できるように、頑張ってくださいね!日本について語れないな~という人はぜひ読んでみてね!

今後のスケジュール

- 2/23日(土) 発表会参加出欠シート提出〆切 ※スケジュールの変更がありましたらお気軽にご相談ください。
- 2/12(火) ~ 16(火) 納豆チョコ週間
- 3/3(日) 英検 二次試験
- 3/12(火) ~ 3/16(土) 2018年度 最終レッスン
- 3/21(祝・木) 発表会 ※午前の部・午後の部と分けて行います。
- 4/2(火) ~ 4/6(土) 2019年度 初回レッスン



<http://www.star-scholars.com/>



スピーチ発表会までもう少し！

今年も発表会の季節がやってきました！今年の発表会は3/21（祝・木）、STARRYの二階で行います。今年のテーマは「All About Sendai」です。2020年のオリンピックの時、仙台を訪問した外国人に仙台の良さを伝えられるように、調べて発表します。人前で英語を話すのは緊張します。が！この経験が必ず役に立つ時が来ると信じて、出来るだけ全員参加しましょう。保護者様の方々も、普段お子様の英語を話す姿を見る機会もなかなかないと思いますので、是非この機会にご覧ください。



"Bridge Over Troubled Water"

When you're weary, feeling small,
When tears are in your eyes
I will dry them all
I'm on your side
Oh when times get rough
And friends just can't be found

★Like a bridge over troubled water

I will lay me down
Like a bridge over troubled water
I will lay me down

When you're down and out
When you're on the street
When evening falls so hard
I will comfort you
I'll take your part
Oh when darkness comes
And pain is all around

★Repeat

Sail on, silver girl
Sail on by
Your time has come to shine
All your dreams are on their way
See how they shine
Oh if you need a friend
I'm sailing right behind

Like a bridge over troubled water
I will ease your mind
Like a bridge over troubled water
I will ease your mind

パラグラフライティングとは？ 論理的な文章を書くコツ

パラグラフライティングという言葉を知っていますか？パラグラフライティングとは、欧米諸国で指導されている、論理的に物事を伝えるために役立つ文章術のことです。

日本人の書く文章は、欧米諸国などに比べ、論理的でないということがよく指摘されています。その原因の多くは、前置きが長く結論が最後にくるという『起承転結』の書き方です。前置きが長いために、何を主張したいのかわからない場合がほとんどです。また、結論が最後にくるため、文章すべてを読まなければ内容が理解できず、重要な情報も見落としがち。忙しい現代人にとって、文章を隅々まで丁寧に読まなければいけないというのは大変な労力です。

では、パラグラフライティングの書き方は？

①主題・主張を述べる

まず、このパラグラフで何を主張したいのかを書きます。読者に伝えたい内容を一文で要約してください。冒頭で全体の要約を伝えることで、この文章で何を伝えたいのかが容易に理解できるようになります。

②主題・主張の補足や例を述べる

次に、補足情報を加え、主題・主張をより詳しく説明していきます。具体的にどういったことなのか？なぜ、そう考えることができるのか？などを加え、最初に書いた主題・主張を強化していくのです。このとき、主題・主張と関係のない情報はささないように注意してください。

③パラグラフのまとめ文を書く

最後に、パラグラフ全体のまとめ文を書いて締めくくります。冒頭に書いた主張を言い換えたり、補足事項をまとめたり、ケースによってさまざまな書き方が可能です。

要するに、英検のライティングと同じ書き方！先に伝えたいこと（結論）を言ってくれれば、読む側も読みやすいよね。発表会の文章を作るときも意識して、少しずつ書けるようになるように練習していこう！

